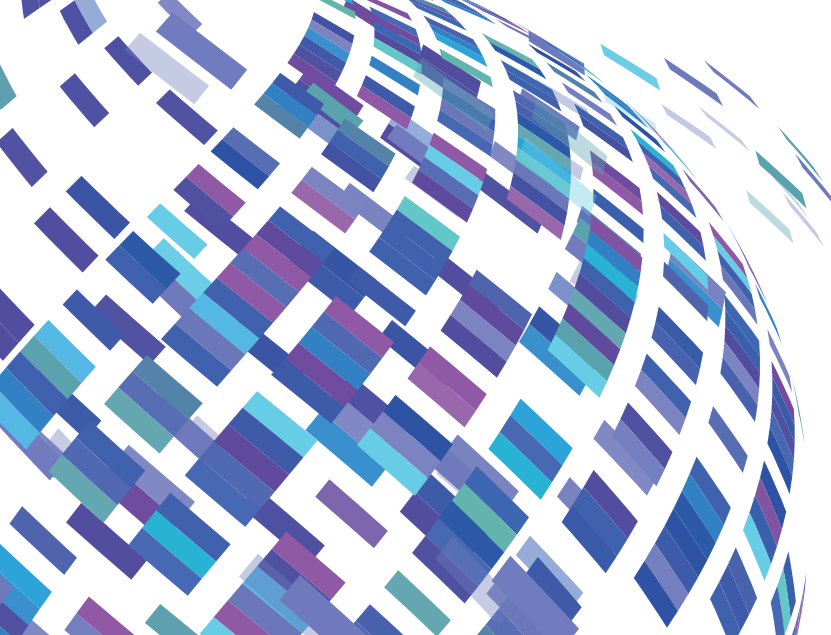
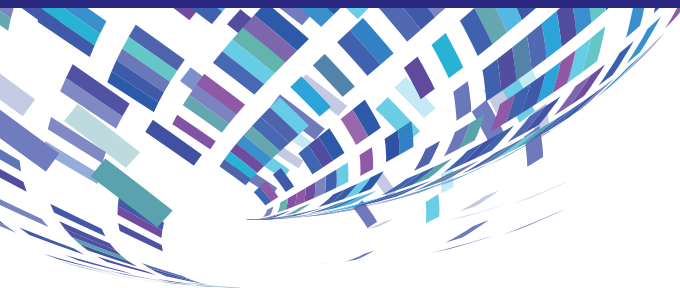


A large, abstract geometric pattern in the top left corner, composed of many small, overlapping rectangular blocks in various shades of blue, teal, and purple, arranged in a way that suggests a spherical or globe-like structure.

IR REPORT 第9期 株主通信

2015年4月1日から2016年3月31日まで

A smaller version of the abstract geometric pattern from the top left, located in the bottom left corner.

ダイキョーニシカワ株式会社

証券コード：4246

株主のみなさまへ



ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの平成28年熊本地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、当社の第9期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の連結業績につきまして、以下のとおりご報告申し上げます。

2016年6月

代表取締役社長 内田 成明

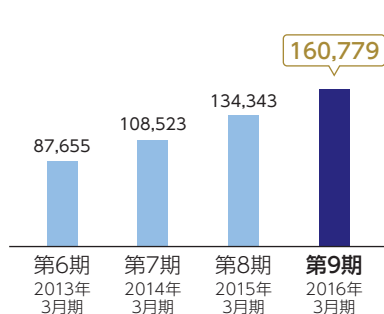
当期の業績について

当連結会計年度(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の連結業績は、主要販売先への売上増等により、売上高は前連結会計年度と比べ26,436百万円

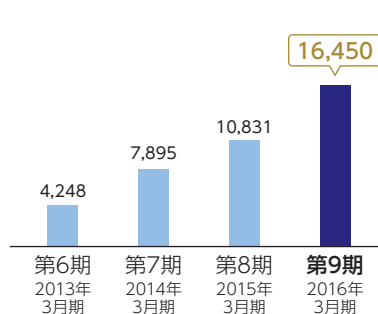
(19.7%)増加の160,779百万円となりました。

営業利益は、増収効果やコスト低減活動等により、前連結会計年度と比べ4,882百万円(39.5%)増加の

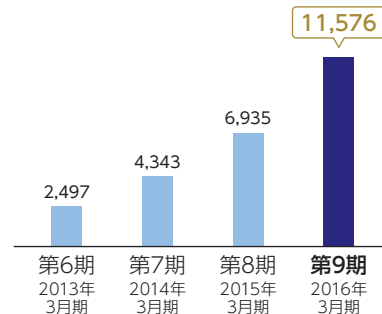
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



17,236百万円となりました。経常利益は、前連結会計年度と比べ5,619百万円(51.9%)増加の16,450百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度と比べ4,640百万円(66.9%)増加の11,576百万円となりました。

来期の業績の見通しについて

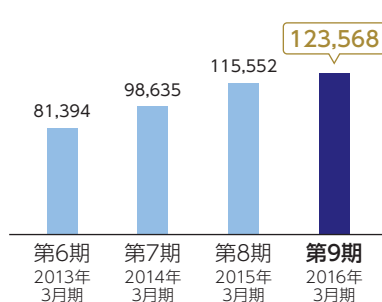
今後の見通しにつきましては、世界の景気は引き続き緩やかな回復が見込まれるものの、新興国の経済減速、原油価格の下落等により、先行きは不透明な状況が続く、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しい状況が続くと予測いたします。

このような状況ではありますが、当社は世界4地域に

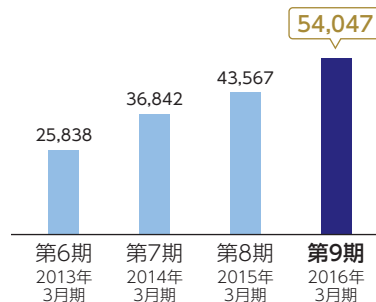
展開した事業拠点の統括・連携機能を強化し、市場開拓と受注拡大に向けた取り組みを推進いたします。そのため将来に向けた先行開発費用や減価償却費の負担増もありますが、更なる収益力の向上を図ってまいります。

なお、来期の業績につきましては、売上高は151,000百万円(前期比6.1%減)、営業利益は13,600百万円(前期比21.1%減)、経常利益は13,500百万円(前期比17.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は9,500百万円(前期比17.9%減)を見込んでおります。

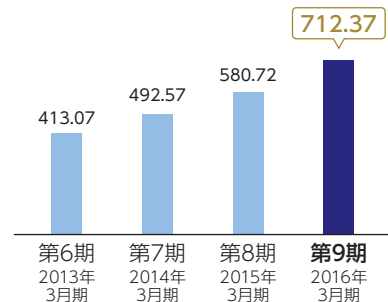
総資産 (百万円)



純資産 (百万円)



1株当たり純資産 (円)



※当社は、2014年1月9日付で普通株式1株につき10株及び2016年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2013年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

ダイキョーニシカワは、国内の各自動車メーカー向け樹脂部品の分野で、材料ブレンド開発から、製品開発、設計、製造までを手がける総合プラスチックメーカーです。

自動車外装・外板部品



- バンパー
- フェンダー
- フード
- バックドア
- ルーフ
- ルーフラック
- スポイラー
- ラジエーターグリル
- リアガーニッシュ
- サイドステップモール 等

自動車エンジンルーム部品



- オイルストレーナー
- エンジンカバー
- インテークマニホールド
- シュラウドパネル
- シリンダーヘッドカバー
- パワステタンク 等

自動車内装部品

- インstrumentパネル
- コンソールボックス
- センターモジュール
- チェンジノブ
- スイッチパネル
- インジケータパネル
- アシストグリップ
- ピラートリム
- ドアトリム
- トランクサイドトリム 等



住宅関連

バスユニット部材

- バスタブ
- カウンター
- ミラーパネル
- 洗い場

洗面・キッチン部材

- 人造大理石キッチンカウンター
- ガラス繊維レス人造大理石製品

トイレタリー部材

- 便座



自動車技術展

「人とくるまのテクノロジー展2016」に出展しました

当社は、2016年5月25日よりパシフィコ横浜（横浜市西区）で開催された自動車技術展「人とくるまのテクノロジー展2016」（主催：公益社団法人自動車技術会）に初出展しました。



今回初出展となる当社は、R&D本部をはじめ関係部門が知恵を出し合いながら出展準備をすすめ、「こんなとこまでプラスチック?!!」をテーマに、「金属から樹脂へ」の置き換えを進めてきた当社の強みや成果をアピールしました。軽くてスタイリッシュな樹脂製のバックドアや質感の高いインストルメントパネル、樹脂製エンジン部品などの最新の製品展示をはじめ、材料ブレンドや各種工法の開発事例をわかりやすく紹介しました。

この展示会は、自動車業界の第一線で活躍する技術者・研究者のための自動車技術の専門展示会です。昨今の自動運転技術の高度化や、環境にやさしい自動車社会実現に向けての取り組みなど、自動車や自動車部品に対する世の中の関心の高まりを反映し、多くの出展社と来場者数を誇る日本最大の自動車技術展です。5月25日(水)から27日(金)までの会期中、538社・団体が出展、8万7千人以上の来場者を集めました。



多くの来場者に当社ブースを訪問いただき、「これほど自動車部品の樹脂化が進んでいるとは新しい発見だった」、「今後自動車の軽量化がますます重要になるなかで、樹脂の可能性をあらためて実感した」、「広島自動車部品メーカーが実直に取り組む技術開発に感銘を受けた。これからも一層の製品開発に取り組んでほしい」などのご意見やご感想を数多くいただきました。

当社は今後一層の製品アピールと広報活動に力を入れ、「社会に貢献し、求め続けられる企業」を目指してまいります。

製品のご紹介

当社では、これまで培ってきた高い技術力、多彩な生産設備により、自動車に関わるあらゆる樹脂部品を提供しています。

今回は当社の主要製品のひとつである、外板部品のバックドアをご紹介します。

自動車の外板部品

バックドアとは？

バックドア

BACK DOOR

車の後面のドアを「バックドア」といいます。（「リアゲート」や「テールゲート」とも呼ばれます。）跳ね上げ式の縦開きのほか、横開き、観音開きを採用している車種もあります。

「跳ね上げ式のバックドアは重くて開け閉めが大変」と思っている方も多かもしれませんが、金属製に比べて軽量の樹脂製バックドアなら軽い力で楽に開閉できます。樹脂化により閉力が2割少なくてすむというデータもあります。

また、軽量化により燃費の向上にも大きく貢献しています。



この部分が「**スポイラー**」です



樹脂製バックドアのアピールポイントは、軽さだけではなく、樹脂は成形の自由度が高いため、複雑な形状にも対応でき、**スポイラー**などの周辺部品も一体化して成形することが可能です。立体感のあるデザイン、個性的なスタイリングは樹脂製ならではの特長なのです。

当社の樹脂製バックドアは、材料のブレンドから自社で行っています。独自のレシピによるオリジナルのブレンド材料を使用しているので、開発期間を短縮できるだけでなく、強度等の性能を維持した上で製品を安価にそして軽く作ることができます。

これからも、より軽く、より機能的で、使いやすさや利便性を考慮したデザインを追求し、安全かつ高品質で高性能な製品の開発に取り組んでまいります。

ダイキョーニシカワは、品質においてもシェアにおいても、「樹脂製バックドアNo.1」の部品メーカーを目指します。

この工場で作っています

エイエフティー株式会社



エイエフティー株式会社は滋賀県の東南部の竜王町に位置しています。

エイエフティー(AFT)の社名は、「**A**dvanced **F**uture **T**echnology Corporation(未来に向かって進化する技術集団企業)」の頭文字を取って命名されました。

「革新的なプラスチック加工技術」への挑戦を行うことを基本理念として、グローバル化に対応できる工場づくりを目指しています。

総長50m、発電量50kwの太陽光発電を設置するなど、環境保全対策にも取り組んでいます。

【エイエフティー概要】

●所在地：滋賀県蒲生郡竜王町鏡2293番地

●主要生産品目：バックドア

●従業員数：254名

●竣工稼働：2013年



ダイキョーニシカワ 開発担当者に聞く



樹脂製のバックドアは金属製に比べて、安全性は問題ないのですか？



金属製に比べて強度が劣るということはなく、自動車に要求される安全性能はすべて満たしています。



樹脂は熱に弱いので、高温になると変形してしまうということはないですか？



耐熱性、難燃性を有した樹脂を使用しているので大丈夫です。

夏の炎天下でも、高温に耐えられる樹脂を使用しています。



バックドアを樹脂製にすることで、軽くなること以外のメリットはありますか？



金属製と違って、樹脂は錆びないことも大きなメリットの一つです。錆びないので、部品の劣化を防ぐことができます。

また、他の部品を一体化して成形できるので、部品数や工程、コストの削減も可能です。

これからも樹脂ならではの長を活かした、よりスタイリッシュで機能的なデザインの開発や、環境性能の向上などに取り組んでまいります。



スポイラーとは？

自動車の車体外面の部品です。車体に沿って流れる空気を整え、車体が浮き上がるのを抑えたり、操縦・走行安定性の向上等を目的としています。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表(要約)

(百万円)

科 目	第8期 2015年3月31日現在	第9期 2016年3月31日現在
資産の部		
1 流動資産	59,988	72,236
現金及び預金	20,842	37,614
受取手形及び売掛金	26,298	23,899
電子記録債権	3,628	3,360
商品及び製品	3,351	988
仕掛品	597	679
原材料及び貯蔵品	2,394	3,033
繰延税金資産	1,215	1,400
未収入金	430	445
その他	1,699	1,246
貸倒引当金	△ 469	△ 431
2 固定資産	55,564	51,332
有形固定資産	49,473	46,493
建物及び構築物(純額)	11,401	10,586
機械装置及び運搬具(純額)	13,184	11,452
工具、器具及び備品(純額)	2,166	2,209
土地	11,071	11,032
その他	11,648	11,212
無形固定資産	1,380	1,157
のれん	131	62
その他	1,249	1,095
投資その他の資産	4,710	3,680
投資有価証券	2,486	1,962
長期貸付金	—	328
繰延税金資産	1,214	937
その他	1,020	792
貸倒引当金	△ 11	△ 340
資産合計	115,552	123,568

科 目	第8期 2015年3月31日現在	第9期 2016年3月31日現在
負債の部		
3 流動負債	51,406	53,442
支払手形及び買掛金	28,081	28,709
短期借入金	4,423	3,908
1年内返済予定の長期借入金	3,094	3,171
1年内償還予定の社債	—	1,000
リース債務	4,297	3,952
未払金	4,871	4,563
その他	6,638	8,139
4 固定負債	20,578	16,078
社債	1,000	—
長期借入金	10,966	8,257
リース債務	4,234	3,723
その他	4,378	4,098
負債合計	71,985	69,521
純資産の部		
株主資本	38,467	50,687
資本金	4,385	5,426
資本剰余金	9,795	10,836
利益剰余金	24,287	34,425
自己株式	△ 0	△ 0
その他の包括利益累計額	3,562	1,953
その他有価証券評価差額金	737	403
為替換算調整勘定	2,833	1,673
退職給付に係る調整累計額	△ 8	△ 124
非支配株主持分	1,537	1,405
純資産合計	43,567	54,047
負債純資産合計	115,552	123,568

1 流動資産

現金及び預金の増加などにより、前期に比べ12,248百万円(20.4%)増加し、72,236百万円となりました。

2 固定資産

有形固定資産の減価償却などにより、前期に比べ4,232百万円(7.6%)減少し、51,332百万円となりました。

3 流動負債

支払手形及び買掛金の増加などにより、前期に比べ2,036百万円(4.0%)増加し、53,442百万円となりました。

4 固定負債

長期借入金の減少などにより、前期に比べ4,500百万円(21.9%)減少し、16,078百万円となりました。

■ 連結損益計算書(要約)

(百万円)

科 目	第8期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで	第9期 2015年4月 1日から 2016年3月31日まで
5 売上高	134,343	160,779
売上原価	113,996	135,465
売上総利益	20,347	25,314
販売費及び一般管理費	7,993	8,078
営業利益	12,353	17,236
営業外収益	645	1,109
営業外費用	2,168	1,894
経常利益	10,831	16,450
特別利益	261	12
特別損失	319	270
税金等調整前当期純利益	10,772	16,193
法人税等合計	3,840	4,671
当期純利益	6,931	11,521
非支配株主に帰属する 当期純損失(△)	△ 3	△ 54
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,935	11,576

5 売上高

主要販売先への売上増に加え、メキシコ子会社において第2四半期より新製品の量産を開始したことにより、前期に比べ26,436百万円(19.7%)増加の160,779百万円となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(百万円)

科 目	第8期 2014年4月 1日から 2015年3月31日まで	第9期 2015年4月 1日から 2016年3月31日まで
6 営業活動による キャッシュ・フロー	10,076	29,678
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 16,146	△ 9,090
財務活動による キャッシュ・フロー	5,378	△ 3,199
現金及び現金同等物に 係る換算差額	603	△ 629
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△ 88	16,758
現金及び現金同等物の 期首残高	20,503	20,415
現金及び現金同等物の 期末残高	20,415	37,174

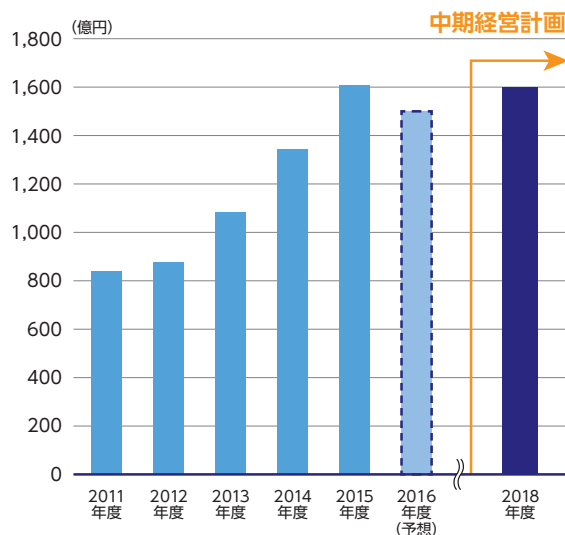
6 営業活動によるキャッシュ・フロー

29,678百万円の収入(前期は10,076百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益16,193百万円及び減価償却費9,391百万円の計上によるものです。

当社グループは2015年度から2018年度までの4年間を対象とする「中期経営計画」を掲げて、国内ビジネスを基盤に顧客の多様化とグローバル市場での事業拡大を図ってまいりましたが、当社グループを取り巻く事業環境の変化及び2016年3月期業績を総合的に勘案した結果、以下のとおり、経営指標の一部見直しを行いました。

目標とする経営指標

■ 連結売上高

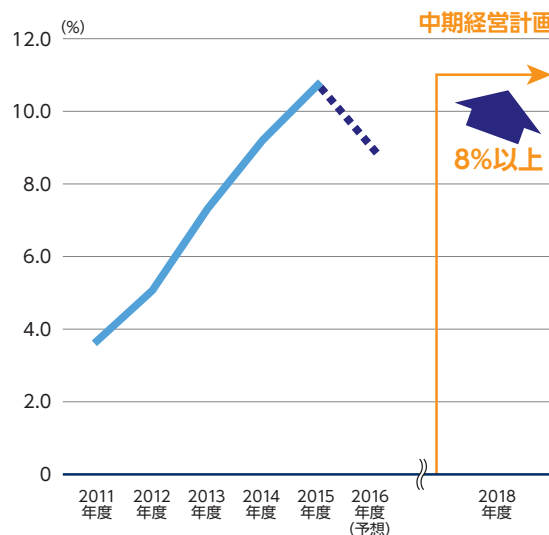


2018年度目標

連結売上高

1,600億円

■ 売上高営業利益率



2018年度目標

売上高営業利益率

8%以上

2018年度目標

自己資本当期純利益率(ROE)

10%以上

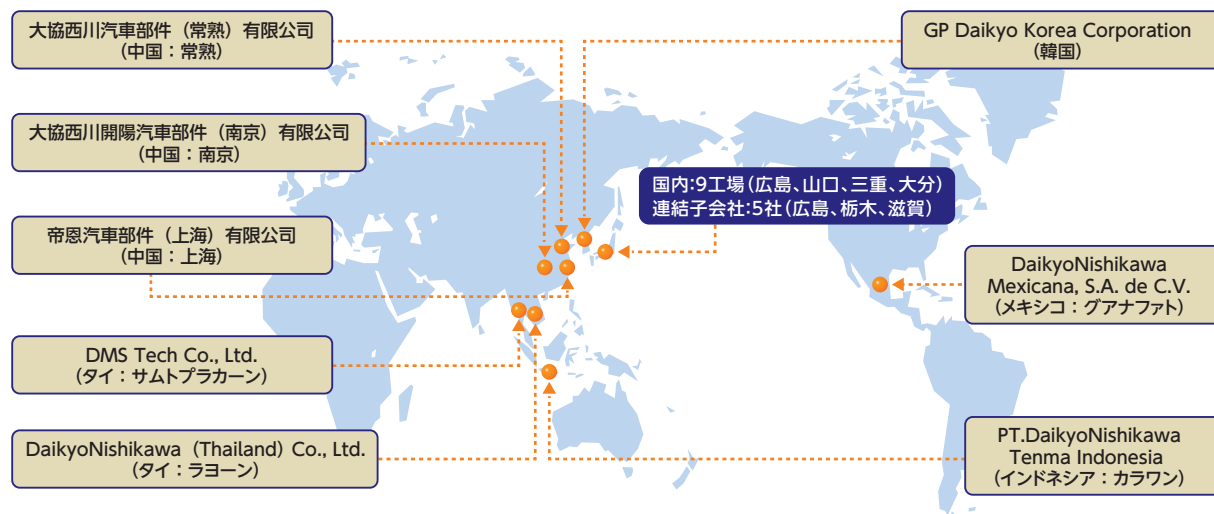
会社概要 (2016年3月31日現在)

社 名	ダイキョーニシカワ株式会社
本 社	広島県安芸郡坂町北新地一丁目4番31号
設 立	2007年4月1日
資 本 金	54億2,665万3,900円
従 業 員 数	4,863名 (連結)

会社役員 (2016年6月24日現在)

代 表 取 締 役 社 長	内 田 成 明
代 表 取 締 役 副 社 長	藪 上 富 美 高
取 締 役 専 務 執 行 役 員	横 田 善 博
取 締 役 専 務 執 行 役 員	竹 岡 健 次
取 締 役 専 務 執 行 役 員	桧 山 俊 夫
取 締 役 専 務 執 行 役 員	錦 村 元 治
社 外 取 締 役	久保田 洋 志
社 外 取 締 役	出 原 正 博
社 外 取 締 役	圓 山 雅 俊
常 勤 監 査 役	繁 元 則 彦
社 外 監 査 役	安 村 和 幸
社 外 監 査 役	廣 田 亨

グローバル事業拠点



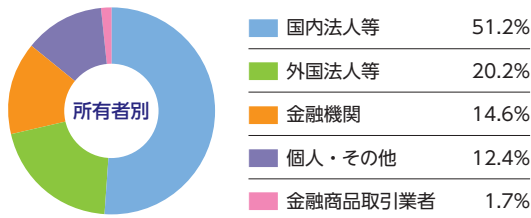
※上記の他に、連結子会社2社、持分法適用関連会社2社があります。

株式情報 (2016年3月31日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	236,704,000株
発行済株式の総数	73,896,400株
単元株式数	100株
株主数	8,285名

株式分布状況



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
西川ゴム工業株式会社	11,835,200	16.0
株式会社イノアックコーポレーション	3,924,600	5.3
三菱商事プラスチック株式会社	3,924,600	5.3
HCP -1号投資事業有限責任組合	3,618,560	4.9
株式会社広島銀行	3,614,400	4.9
住友商事株式会社	3,573,680	4.8
三井物産株式会社	3,222,720	4.4
マツダ株式会社	2,958,800	4.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,435,200	3.3
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,358,300	1.8

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヵ月以内
剰余金の配当の基準日	期末配当3月31日 中間配当9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 0120-094-777 (平日9:00 ~ 17:00)
同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 掲 載 方 法	電子公告 http://www.daikyonishikawa.co.jp/ 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

- 当社は、投資家層の拡大及び株式の流動性の向上を図ることを目的として、2016年1月1日付で普通株式1株につき4株の割合をもって株式分割いたしました。



- 当社は、2016年2月16日に決議した株式売出しに伴うオーバーアロットメントによる売出しに関連して、3月29日に第三者割当増資における1,520,000株の新株式の発行を行いました。



ダイキョーニシカワ株式会社

TEL:082-885-9979

<http://www.daikyonishikawa.co.jp/>

UD FONT

